

洪水



ハザードマップ



このマップは、大雨や台風などによって想定される洪水の危険箇所を示した地図です。河川が氾濫（はんらん）した場合に浸水する範囲や深さが色分けされています。あらかじめリスクを把握することで、災害時に適切な避難行動をとることができます。日ごろから自宅や職場周辺の危険箇所・避難場所を確認しておきましょう。

—目次—

洪水とは	1
洪水以外の災害について	2
日ごろからの備えと避難行動のポイント	3
情報の伝達方法と入手手段	4
町が出す警戒レベルと取るべき行動	5
ハザードマップの見かた	6
洪水ハザードマップ	7～18
もしもの時の防災メモ、防災関係機関一覧	裏表紙

このハザードマップに示した浸水想定区域は、洪水（外水氾濫）を想定しているよ。



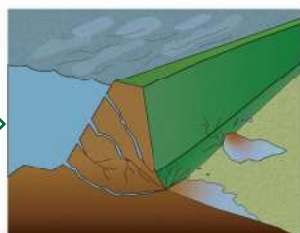
洪水（外水氾濫）とは

- ・川から水があふれ、氾濫（はんらん）することをいいます。
- ・大雨や台風で川の流量が異常に増加すると、堤防から水があふれ出たり、強い水の力で堤防が崩れて大量の水が市街地に流れ込み、浸水被害が生じます。
- ・河川沿いや低い土地で起こりやすく、浸水の範囲が広がる場合があります。また、水の勢いが強いと、家屋が流出する危険があります。

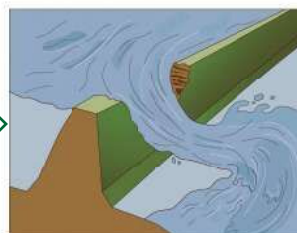
洪水発生メカニズム



大雨によって川の水が増え、水かさが増え始めます。



堤防いっぱいまで水が増えると、堤防に水の圧力がかかります。



水が増え、水の力に堤防が耐えられなくなり、堤防の一部が崩れ始めます。



崩れた場所は一気に拡がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲いかかります。

■洪水以外の災害にも注意しましょう

洪水だけでなく、地震・津波・土砂災害・内水氾濫・ため池の決壊・高潮など、多様な災害が発生する可能性があります。災害は思わぬときに起こります。

特に近年頻発しているのが土砂災害と洪水災害が同時に起きる「土砂・洪水氾濫」です。土砂・洪水氾濫は斜面が大規模に崩れた場合に、大量の土砂が川を埋めて洪水が起こる複合的な災害です。それぞれが単独で発生するのと異なるため、思わぬ地域で被害が出る可能性があります。複数の災害が同時に起こる「複合災害」にも注意する必要があります。

双葉町で公開しているハザードマップ

<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/10777.htm>



内水氾濫

内水氾濫とは、雨量の増加に街中の排水が間に合わず、側溝やマンホールから水があふれ出す現象だよ。



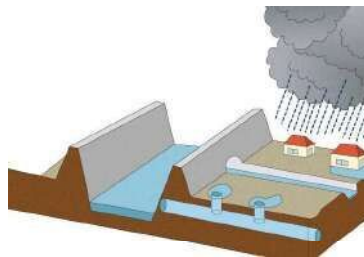
土砂災害



氾濫型の内水氾濫

短時間強雨等により雨水の排水能力が追いつかず発生する浸水です。

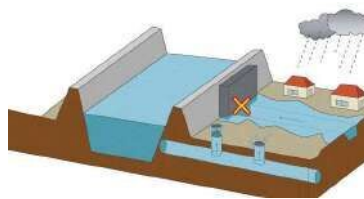
河川周辺地域とは異なる場所でも発生します。



湛水型の内水氾濫

河川周辺の雨水が河川の水位が高くなったため排水できずに発生します。

発生地域は堤防の高い河川の周辺に限定されます。



津波



農業用ため池の決壊



災害発生につながる雨量の目安

1時間雨量	予報用語	人の受けるイメージ	屋内	屋外の様子	災害発生状況
10～20mm	やや強い雨	ザーザーと降る雨	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	地面一面に水たまりができる	長く続くときは注意が必要
20～30mm	強い雨	どしゃ降り			側溝や下水、小さな川があふれ、小さな崖崩れが始まる。
30～50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る		道路が川のようになる	山崩れ、崖崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要
50～80mm	非常に激しい雨	滝のように降る ゴーゴーと降り続く		水しぶきで辺り一面が白っぽくなり視界が悪くなる	マンホールから水が流出する。土石流が起こりやすい。多くの水害が発生する。
80mm～	猛烈な雨	息苦しくなるような 圧迫感があり、恐怖を感じるような雨			雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、嚴重な警戒が必要

日ごろからの備え

■非常用持出品・非常用備蓄品を準備しておきましょう

自宅が危険な状態になったり、避難指示が出たりして避難所に向かう場合に備えて、両手の空くりュックサックなどに非常用持出品を準備しておきましょう。
また、自宅での安全が確保できる場合や、避難所が満員で自宅待機が必要な場合に備えて、非常用備蓄品を準備しておきましょう。

非常用持出品例：●携帯ラジオ・懐中電灯・電池 ●緊急医療品 ●貴重品 ●感染症対策用品
非常用備蓄品例：●飲料水 ●燃料 ●非常食品 ●毛布・寝袋 ●調理器具
※詳しくは裏表紙のチェックリストを確認してください。



■早めの避難を心がけましょう

浸水してからの自宅外避難は危険です。
降雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難指示を待たずに自主的に避難を開始してください。



■避難先・避難ルート・避難方法を確認しましょう

浸水に対して安全な避難先とルートを、平時から家族や地域で確認しておきましょう。
また、自家用車での避難は、緊急自動車の通行を妨げるとともに、交通渋滞に巻き込まれる可能性もありますので、やめましょう。



避難行動のポイント

■ご近所に声をかけましょう

単独での避難は、思わぬ事態に合った時に危険です。
避難する前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心掛けましょう。



■車での避難は注意

車での避難は道路が浸水する前に早めに開始しましょう。
道路が浸水すると車のエンジンが止まる可能性があるので、できる限り歩いて避難しましょう。

■やむなく浸水の中を歩く際は

氾濫水は濁っていますので、水の中の障害物に注意しましょう。
氾濫水は勢いが強いので危険です。

■地下歩道やアンダーパスの冠水に注意しましょう

道路や線路の下をくぐるアンダーパスや地下歩道は、洪水の際、真っ先に浸水します。
避難経路が限定される場合がありますので、場所を把握してう回路を想定しておきましょう。



■万が一、逃げ遅れたら

避難できなと感じたら無理をせず、自宅の2階や近所の高台へ避難して救助を待ちましょう。

■避難所での注意

水害時に開設される避難所では、不特定多数の人々が一定期間滞在することになります。大声を出したり、騒いだり他人が不快に感じるような言動は控えましょう。互いの気遣いが大切です。

情報の伝達方法と入手手段

災害用伝言ダイヤル・災害用伝言版



伝言の録音

171

1

相手の電話番号

伝言を入れる
(30秒以内)

伝言の再生

171

2

相手の電話番号

伝言を聞く



災害用伝言版 (web171)

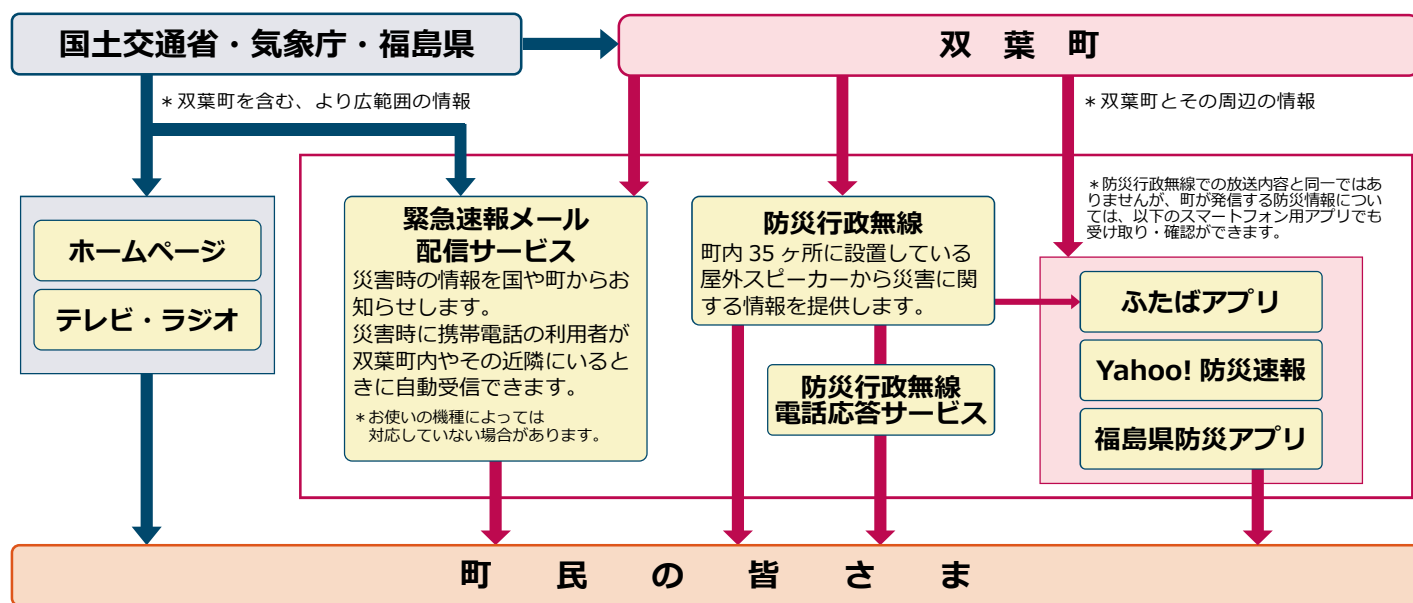
<https://www.web171.jp/web171app/>

自分、もしくは
連絡を取りたい相手の
電話番号を登録

伝言を記入

伝言を確認

気象情報・避難情報等の伝達方法



災害に関する情報の入手先

● 気象庁ホームページ
※ あなたの街の防災情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/>



● 気象庁ホームページ
※ キキクル (危険度分布)
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>



● 国土交通省「川の防災情報」
※ 河川情報
<https://www.river.go.jp/>



● 福島県「河川流域総合情報システム」
※ 河川情報
<https://kaseninf.pref.Fukushima.jp/>



● 防災行政無線
電話応答サービス
電話：0240-33-3755

48時間以内に放送された、
気象警報などの防災情報を
電話で確認することができます。

● 福島県防災アプリ



Android



iOS

● Yahoo! 防災速報



Android



iOS

● ふたばアプリ



Android



iOS



* ふたばアプリについて

災害時に必要な情報以外にも、町の情報に簡単にアクセスできます。また、利用者同士で情報交換も可能になっています。

ふたばアプリ運営サポートセンター

電話：0120-274-280

町が出す警戒レベルと取るべき行動

それぞれの警戒レベルと取るべき行動を確認し、早めの避難行動の判断に役立ててください。避難指示等が発令されていなくても、防災気象情報を基に自主避難の判断をしてください。

警戒レベル5は既に災害が発生し避難できない状況が予想されるため、

警戒レベル3や警戒レベル4の段階で避難することが重要です※1。

警戒レベル	防災気象情報 ※2	町の避難情報	住民がとるべき行動
5	氾濫特別警報 大雨特別警報	緊急安全確保 ※3	命の危険、直ちに安全確保
.....警戒レベル4までに必ず避難すること.....			
4	氾濫危険警報 大雨危険警報	避難指示	危険な場所から 全員避難してください
3	氾濫警報 大雨警報	高齢者等 避難 ※4	危険な場所から高齢者や障がい者、 乳幼児等とその支援者は避難してください
2	氾濫注意報 大雨注意報		ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や 避難先、避難経路を確認しましょう
1	早期注意情報		災害への心構えを高めましょう

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

※2 警報及び注意報の名称は、令和8年5月頃の防災気象情報見直し後のものです。

※3 町が災害発生状況を確実に把握できない場合もあるため、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※4 高齢者以外の方も必要に応じ、避難の準備を整えたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

ハザードマップについて

7頁からのマップは、前田川水系（前田川・中田川・戒川・根小屋川・松迫川）の県が管理する区間について作成した「洪水浸水想定区域図」です。大雨で川があふれた場合に、どの範囲まで水が広がり、どのくらいの深さになるかをシミュレーションで予測し、表示しています。

この想定は、現在の川の整備状況をふまえ、「最大規模の大雨が降った場合」を前提にしています。

ただし、このシミュレーションでは

- ・支流の氾濫
- ・想定を超える大雨
- ・高潮や内水氾濫（排水不良などで水がたまること）

といった要因は考慮していません。

そのため、図で示されていない地域でも浸水する可能性があり、

また表示されている水深と実際の浸水の深さが異なることもあります。

想定規模		
想定される最大規模の降雨		
まえだがわ 前田川流域	24時間雨量	732.7mm
なかがわ 中田川流域	24時間雨量	747.0mm
えびすがわ 戒川流域	24時間雨量	747.0mm
ねこやがわ 根小屋川流域	24時間雨量	747.0mm
まつきこがわ 松迫川流域	24時間雨量	747.0mm

ハザードマップの見かた

想定されている現象について

洪水浸水想定区域

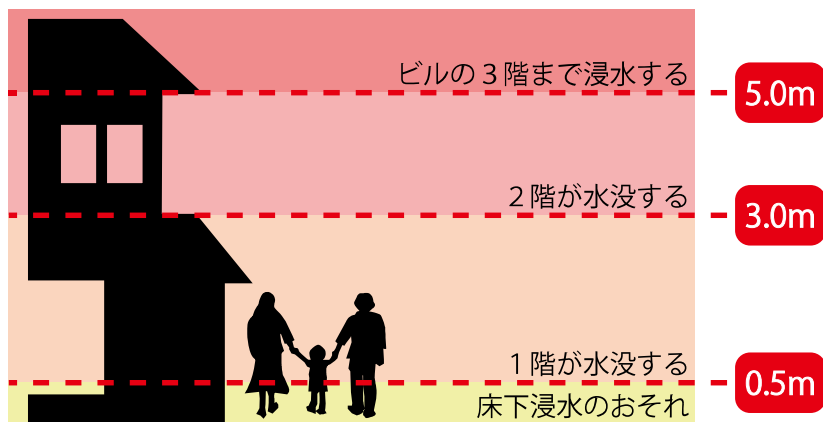
想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域であり、洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保、又は浸水の防止により、水災による被害の低減を図ることを目的として国土交通大臣・都道府県知事が指定します。



このハザードマップには、洪水浸水想定区域以外にも、土砂災害のおそれがある区域（土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域）や津波災害警戒区域も示しているよ。

早めの避難があなたの命を救います。

洪水浸水想定区域のイメージ



土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

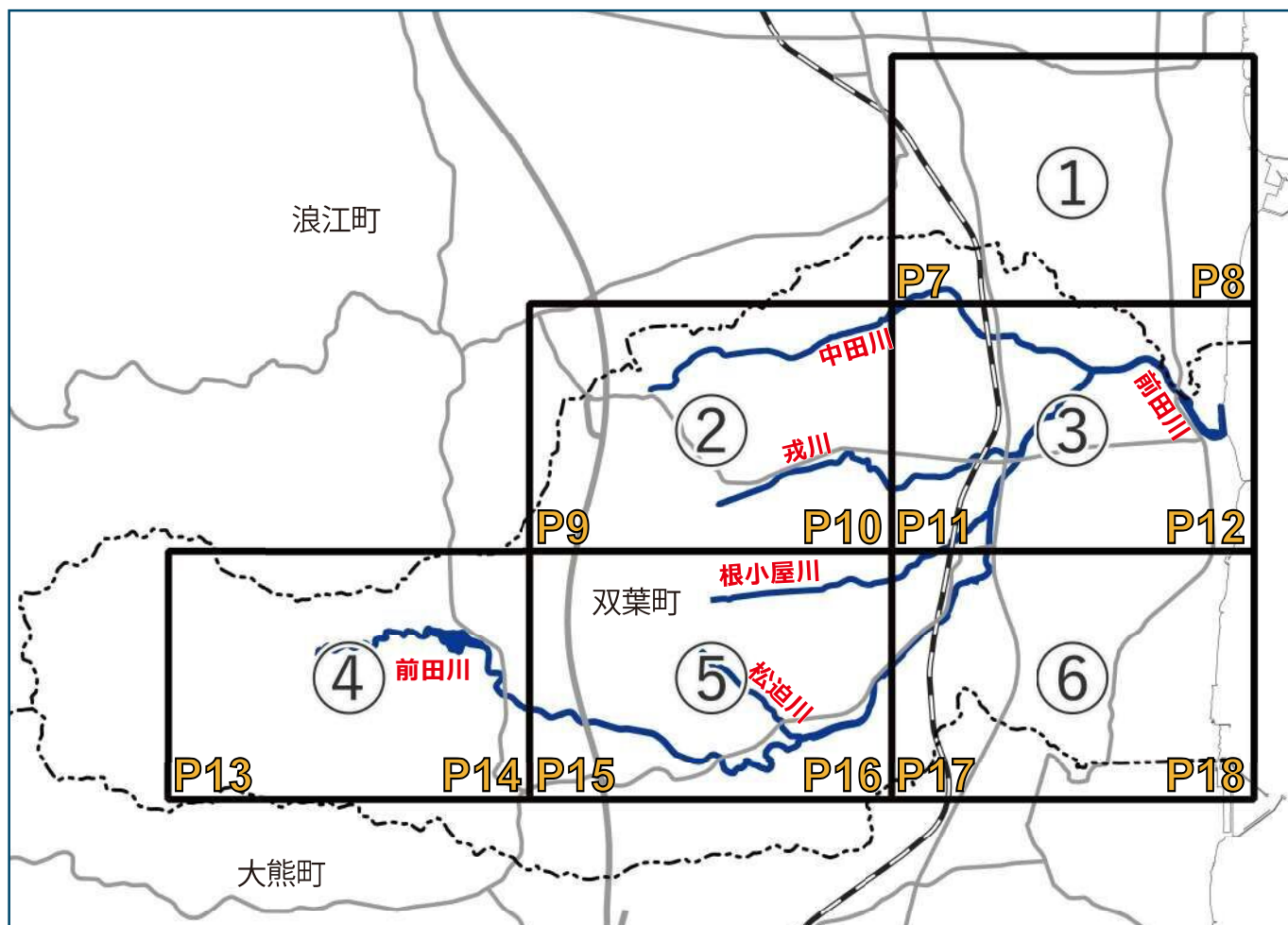
土砂災害特別警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

津波災害警戒区域

津波が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

索引図

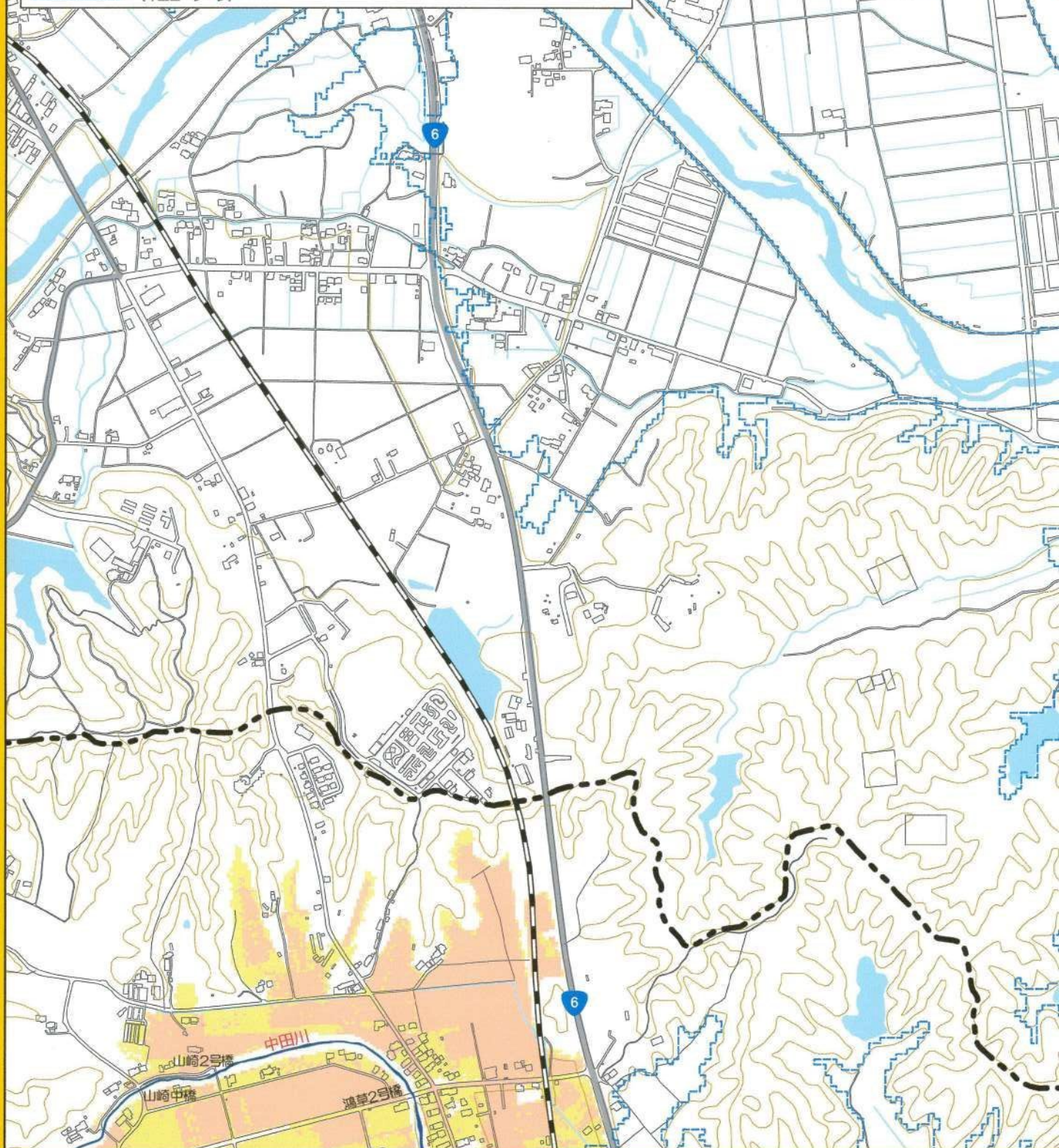


凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0m ~ 10.0m 未満の区域
- 3.0m ~ 5.0m 未満の区域
- 0.5m ~ 3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域
- 洪水浸水想定区域図の指定の対象となる区域
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 津波災害警戒区域(イエローゾーン)

- 防災拠点
- アンダーパス・窪地道路
- 地下歩道
- 水位観測所・水位計
- 常磐自動車道
- 国道
- 県道
- JR常磐線



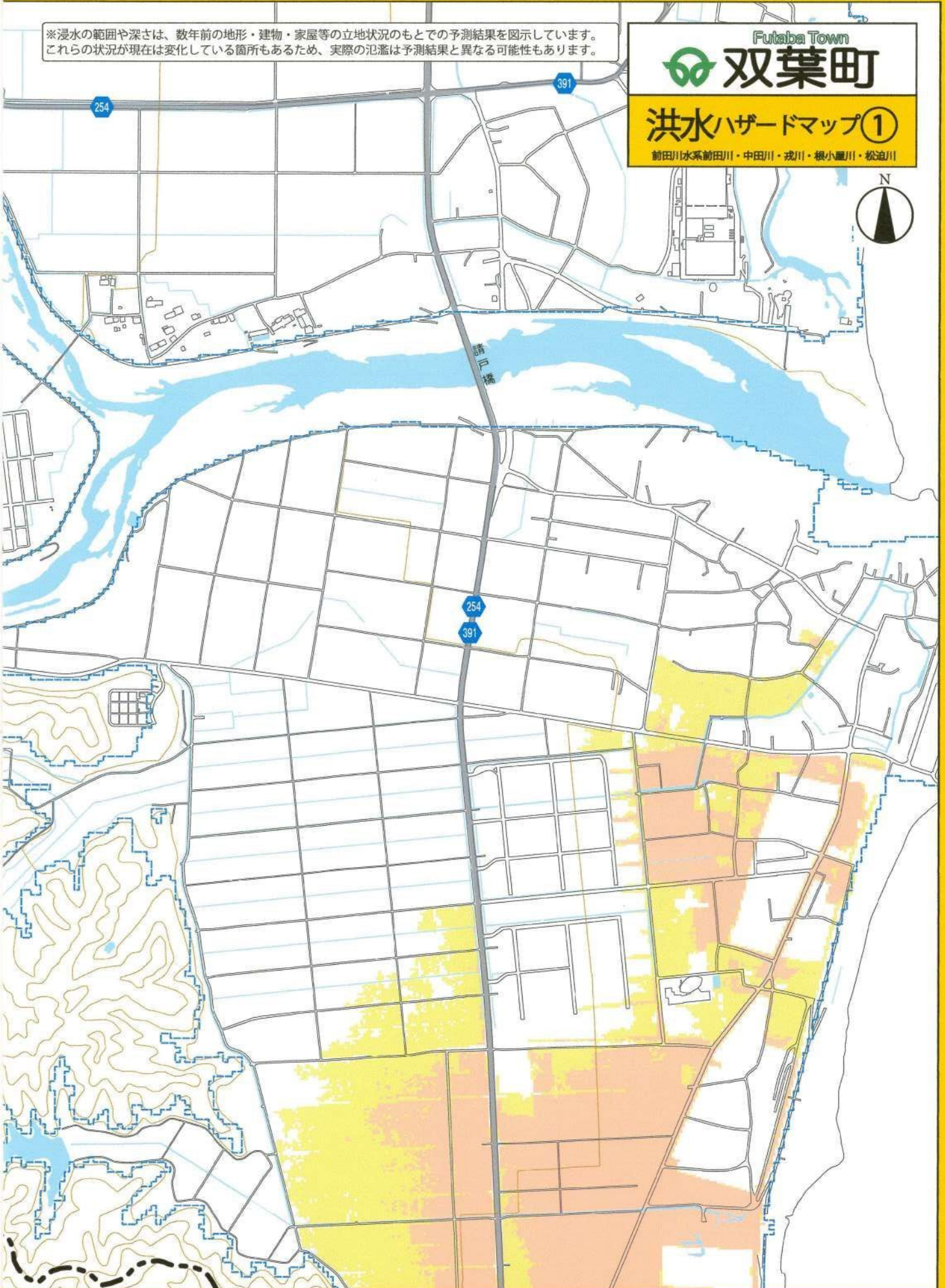
1:10,000 0 250 500 750 1000m

※浸水の範囲や深さは、数年前の地形・建物・家屋等の立地状況のもとでの予測結果を図示しています。これらの状況が現在は変化している箇所もあるため、実際の氾濫は予測結果と異なる可能性もあります。

Futaba Town
双葉町

洪水ハザードマップ①

前田川水系前田川・中田川・戎川・根小屋川・松迫川

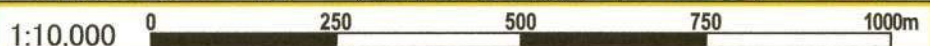
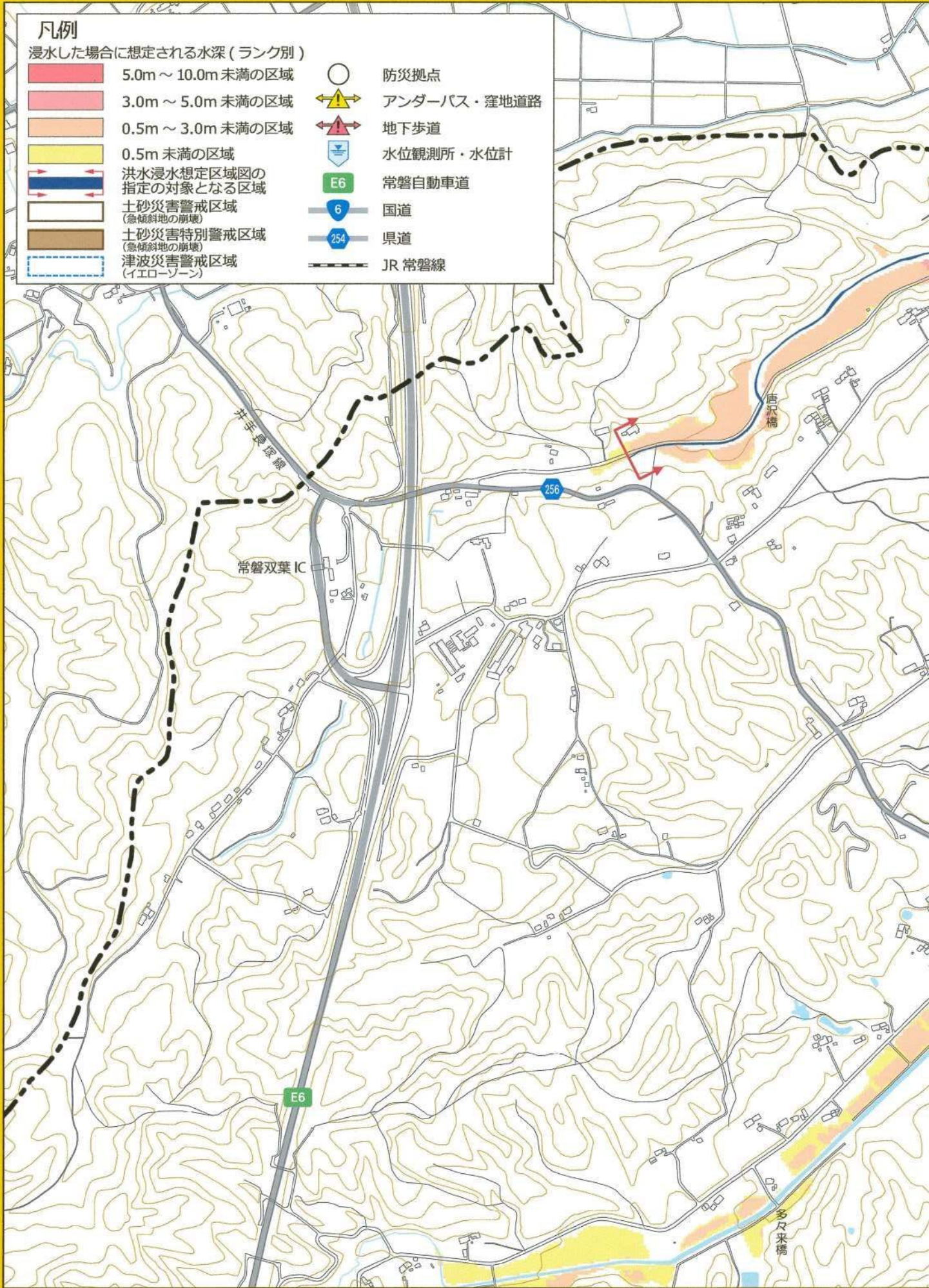


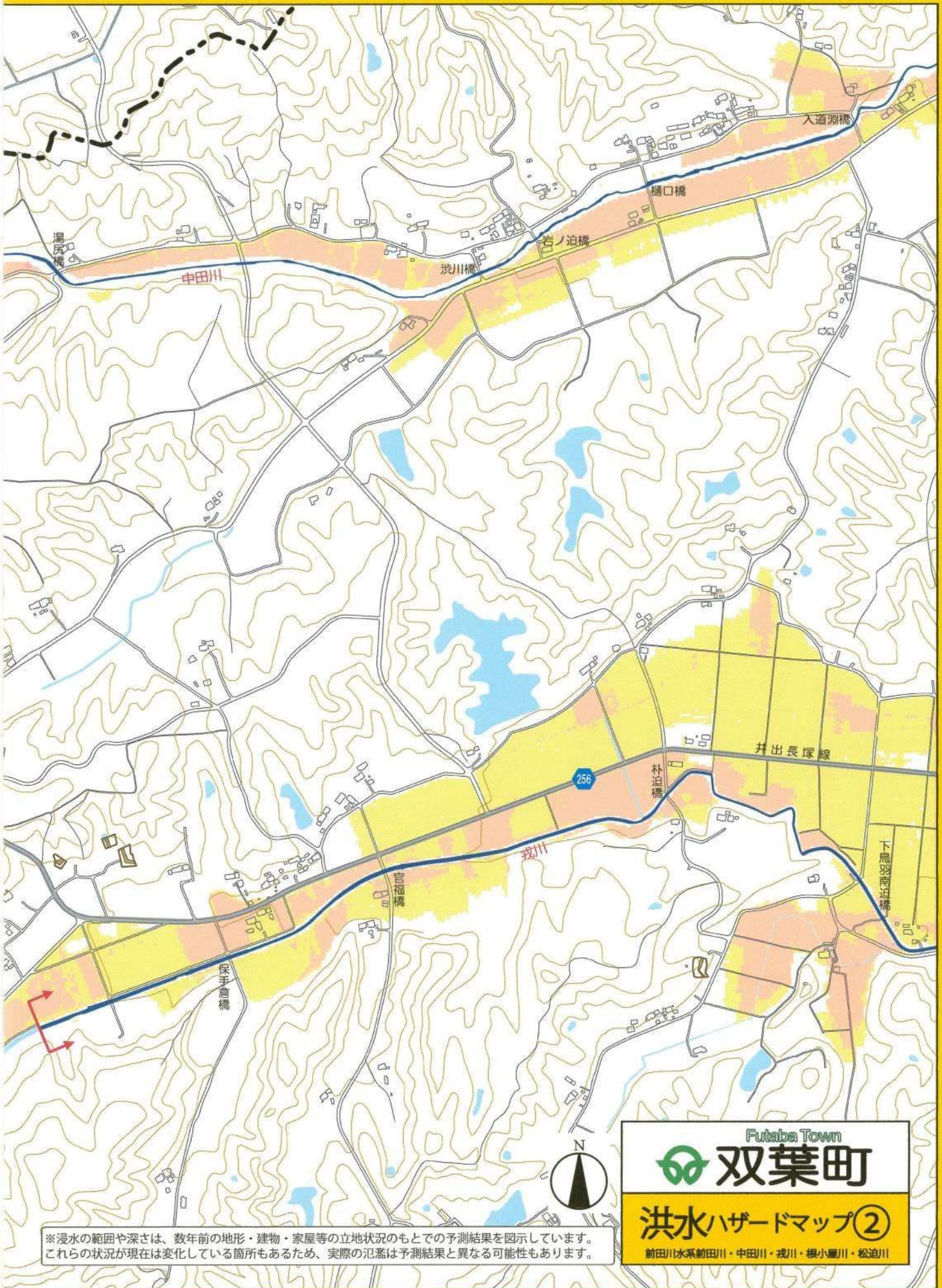
凡例

浸水した場合に想定される水深 (ランク別)

- 5.0m ~ 10.0m 未満の区域
- 3.0m ~ 5.0m 未満の区域
- 0.5m ~ 3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域
- 洪水浸水想定区域図の指定の対象となる区域
- 土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域 (急傾斜地の崩壊)
- 津波災害警戒区域 (イエローゾーン)

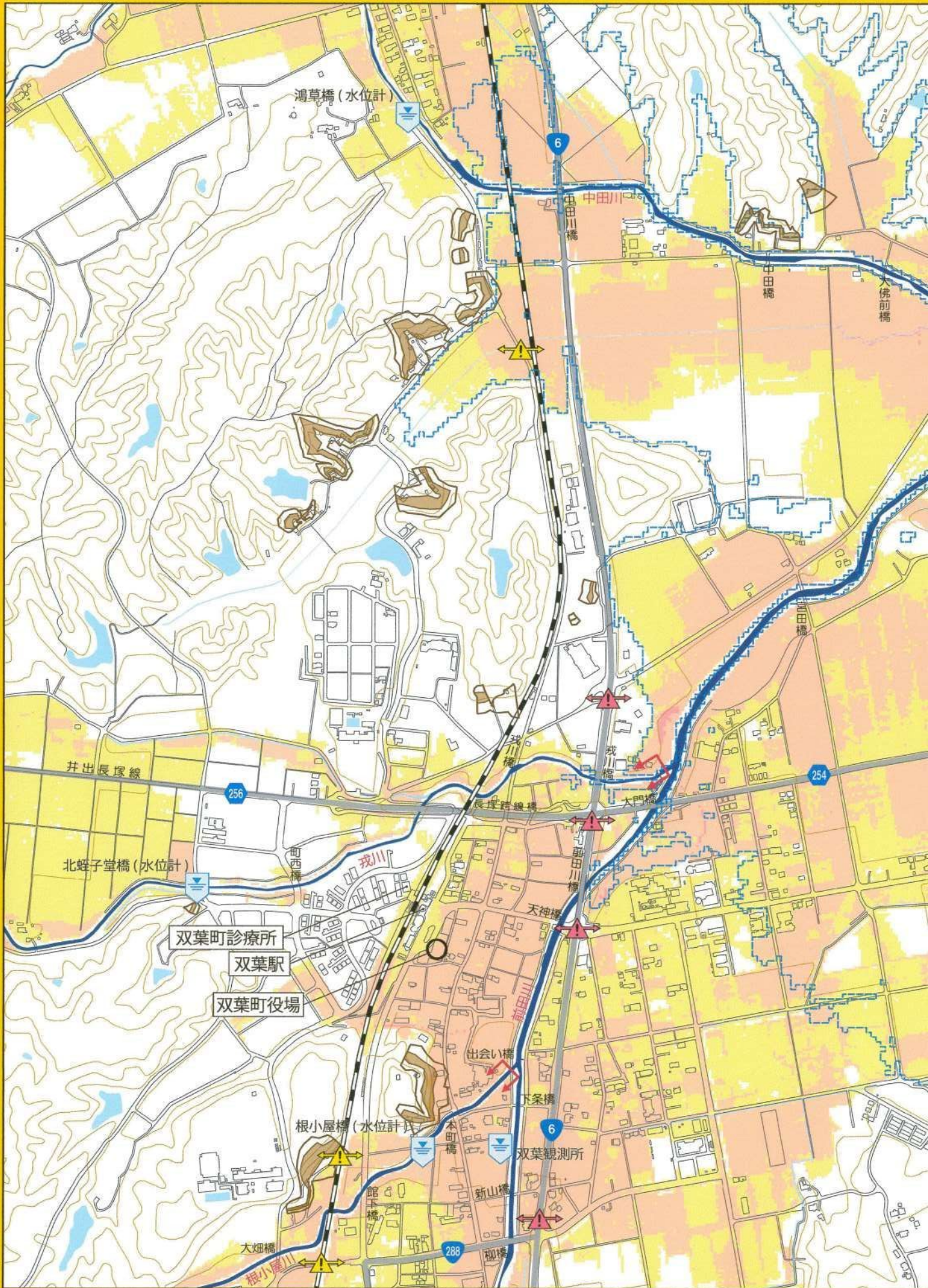
- 防災拠点
- アンダーパス・窪地道路
- 地下歩道
- 水位観測所・水位計
- 常磐自動車道
- 国道
- 県道
- JR 常磐線





※浸水の範囲や深さは、数年前の地形・建物・家屋等の立地状況のもとでの予測結果を図示しています。
 これらの状況が現在は変化している箇所もあるため、実際の氾濫は予測結果と異なる可能性もあります。

Futaba Town
双葉町
洪水ハザードマップ②
 前田川水系前田川・中田川・我川・根小堀川・松迫川

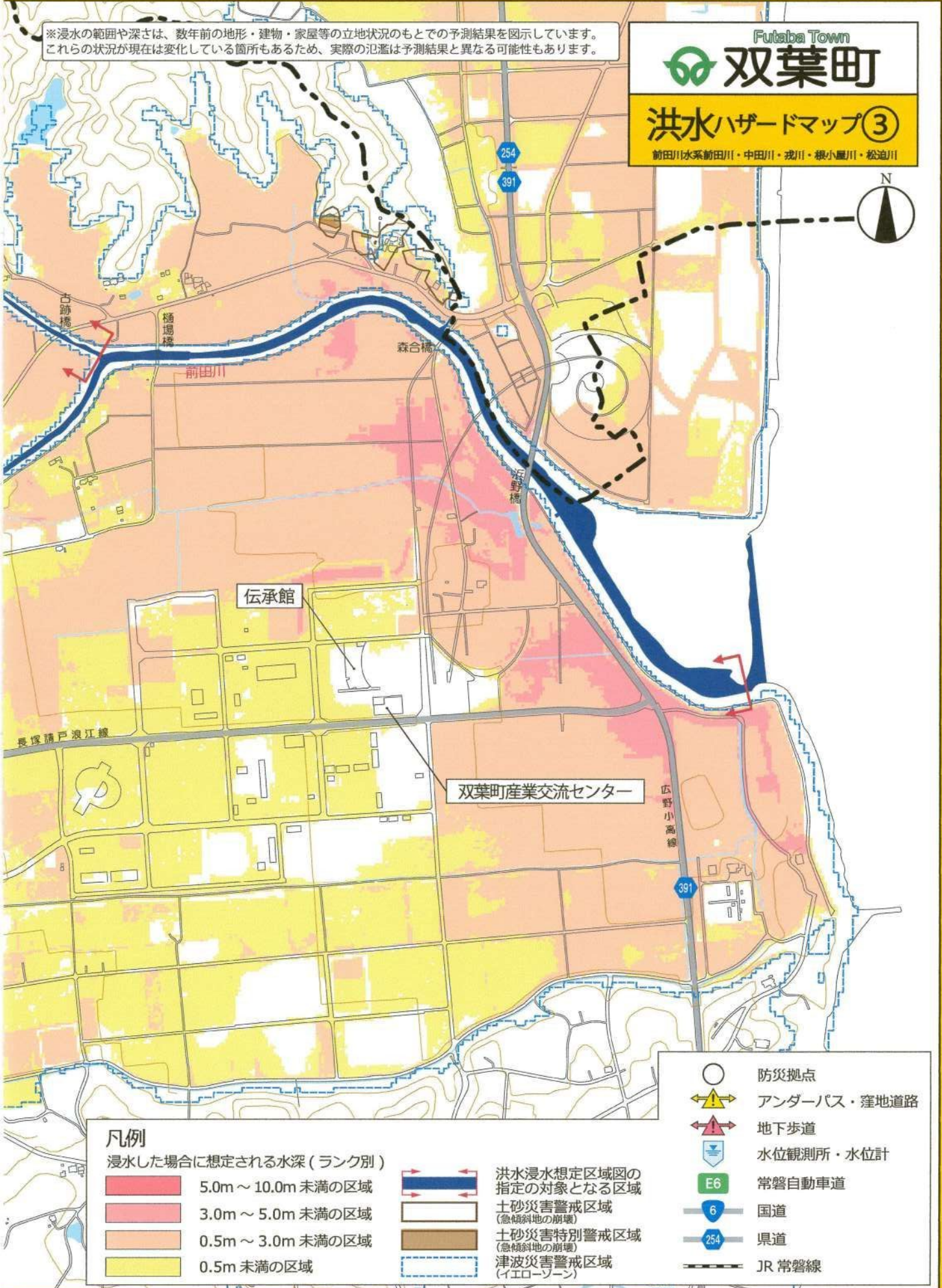


※浸水の範囲や深さは、数年前の地形・建物・家屋等の立地状況のもとでの予測結果を図示しています。これらの状況が現在は変化している箇所もあるため、実際の氾濫は予測結果と異なる可能性もあります。

Futaba Town
双葉町

洪水ハザードマップ③

前田川水系前田川・中田川・戎川・根小嵐川・松迫川



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0m ~ 10.0m 未満の区域
- 3.0m ~ 5.0m 未満の区域
- 0.5m ~ 3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域

- 洪水浸水想定区域図の指定の対象となる区域
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 津波災害警戒区域(イエローゾーン)

- 防災拠点
- ▲ アンダーパス・窪地道路
- ▲ 地下歩道
- ▲ 水位観測所・水位計
- E6 常磐自動車道
- 6 国道
- 254 県道
- JR常磐線

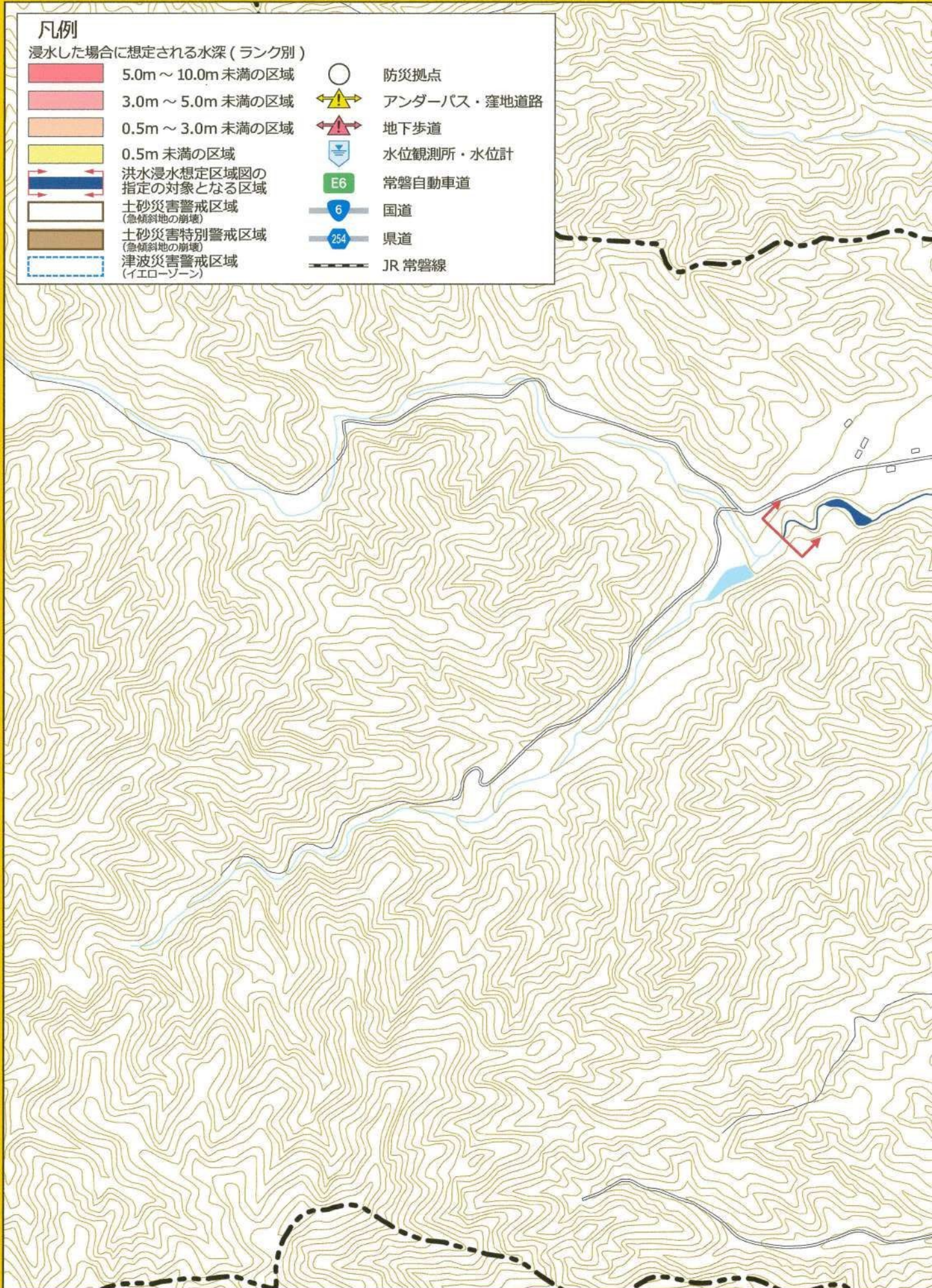
国土地理院長の承認を得て、国土地理院 数値地図(国土基本情報)を加工して作成しています。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用) R 7JHs 583)

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0m ~ 10.0m 未満の区域
- 3.0m ~ 5.0m 未満の区域
- 0.5m ~ 3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域
- 洪水浸水想定区域図の指定の対象となる区域
- 土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)
- 津波災害警戒区域(イエローゾーン)

- 防災拠点
- アンダーパス・窪地道路
- 地下歩道
- 水位観測所・水位計
- 常磐自動車道
- 国道
- 県道
- JR 常磐線

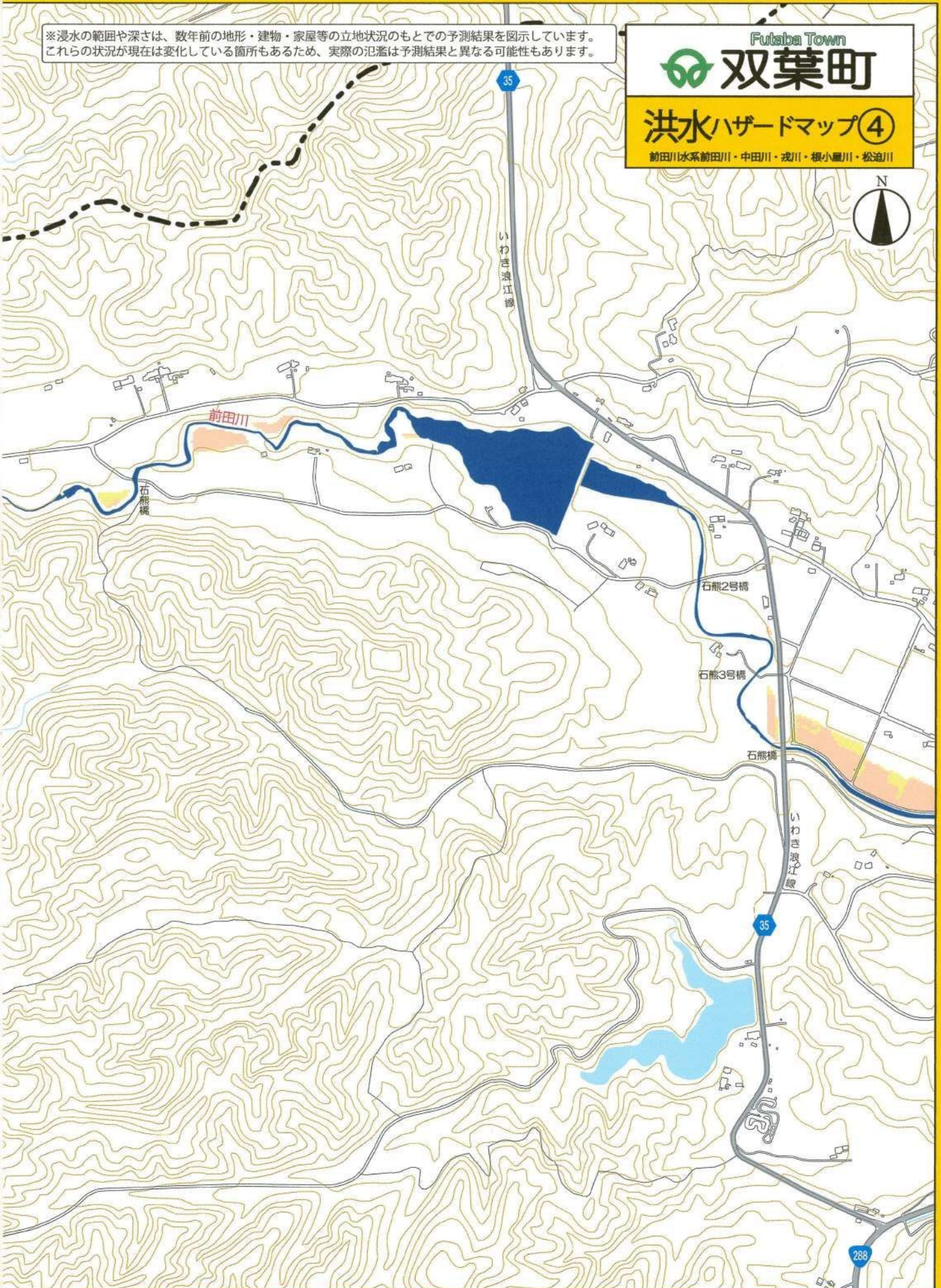


※浸水の範囲や深さは、数年前の地形・建物・家屋等の立地状況のもとでの予測結果を図示しています。
これらの状況が現在は変化している箇所もあるため、実際の氾濫は予測結果と異なる可能性もあります。

Futaba Town
双葉町

洪水ハザードマップ④

前田川水系前田川・中田川・戎川・根小屋川・松迫川

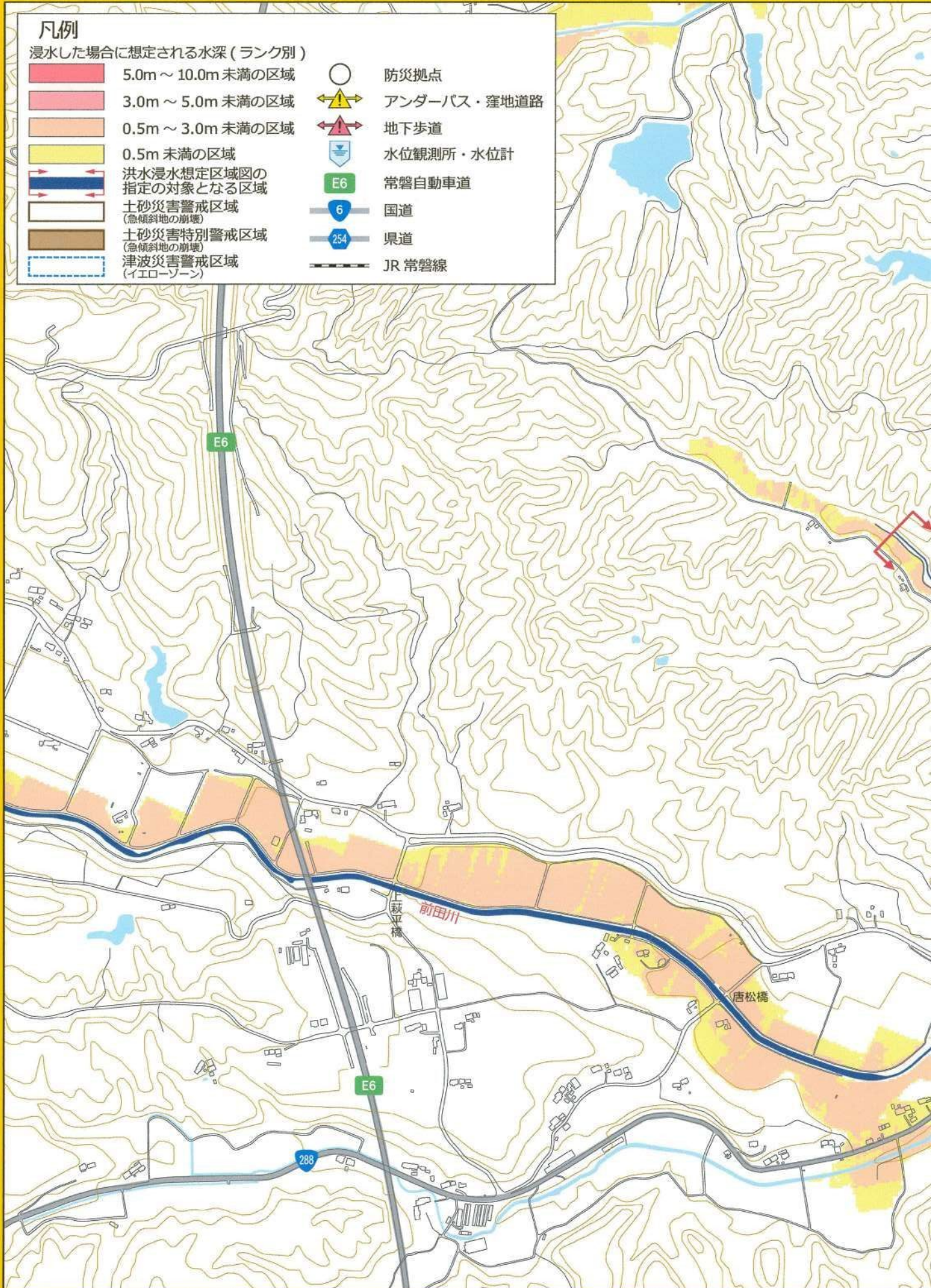


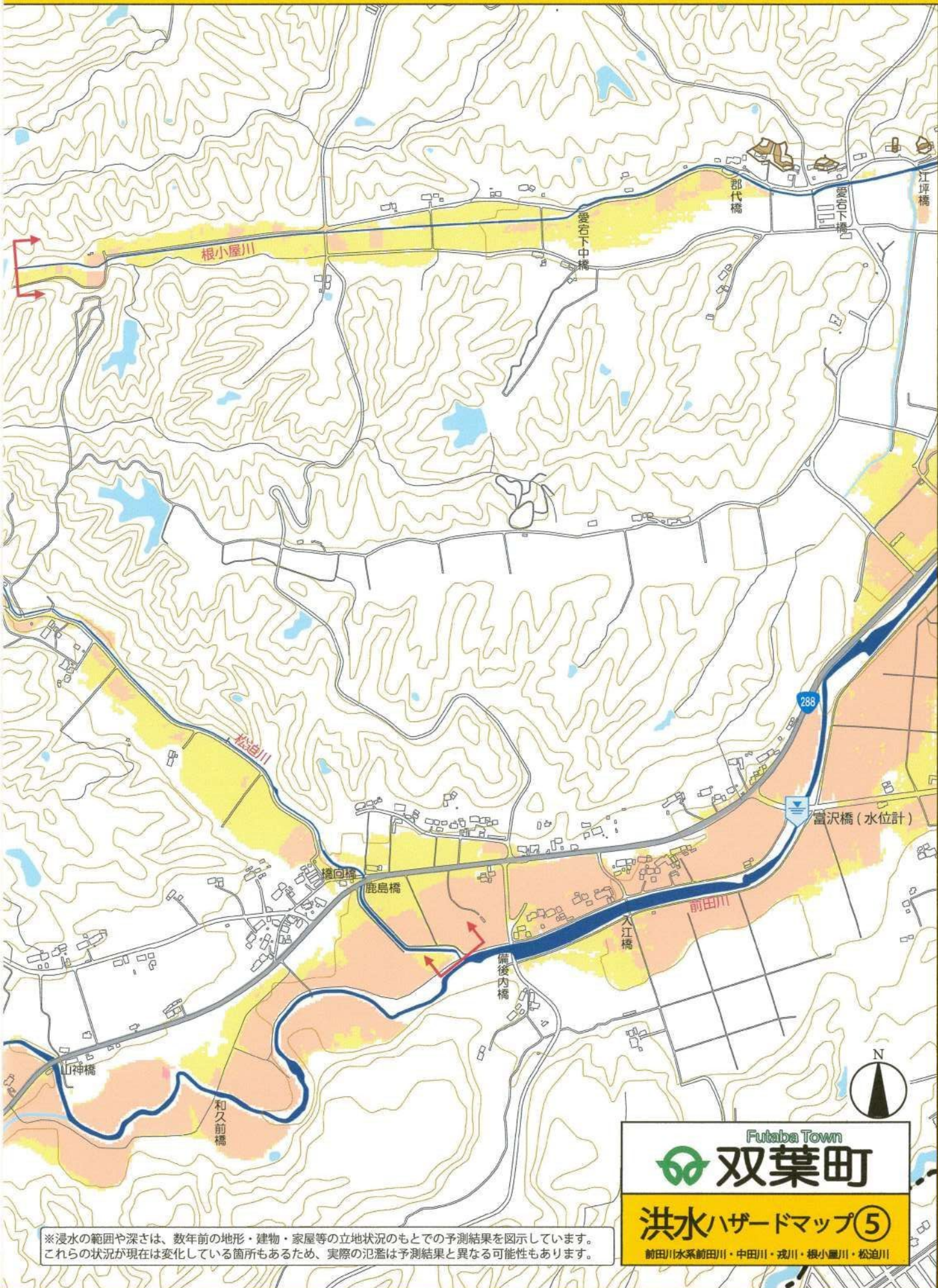
凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 5.0m～10.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 0.5m～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 洪水浸水想定区域図の指定の対象となる区域
- 土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）
- 津波災害警戒区域（イエローゾーン）

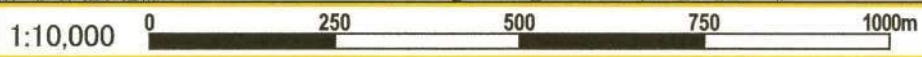
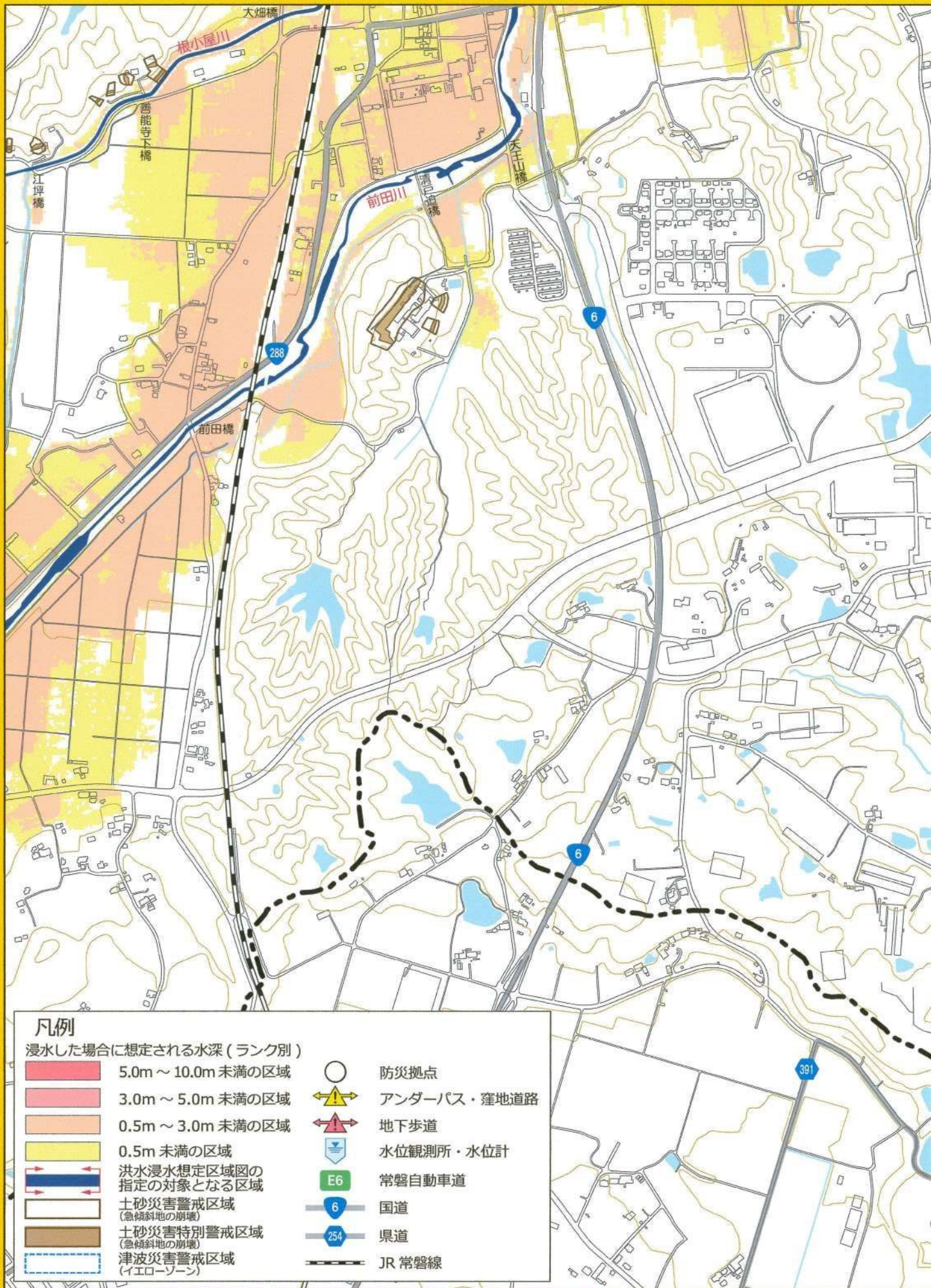
- 防災拠点
- アンダーパス・窪地道路
- 地下歩道
- 水位観測所・水位計
- 常磐自動車道
- 国道
- 県道
- JR常磐線

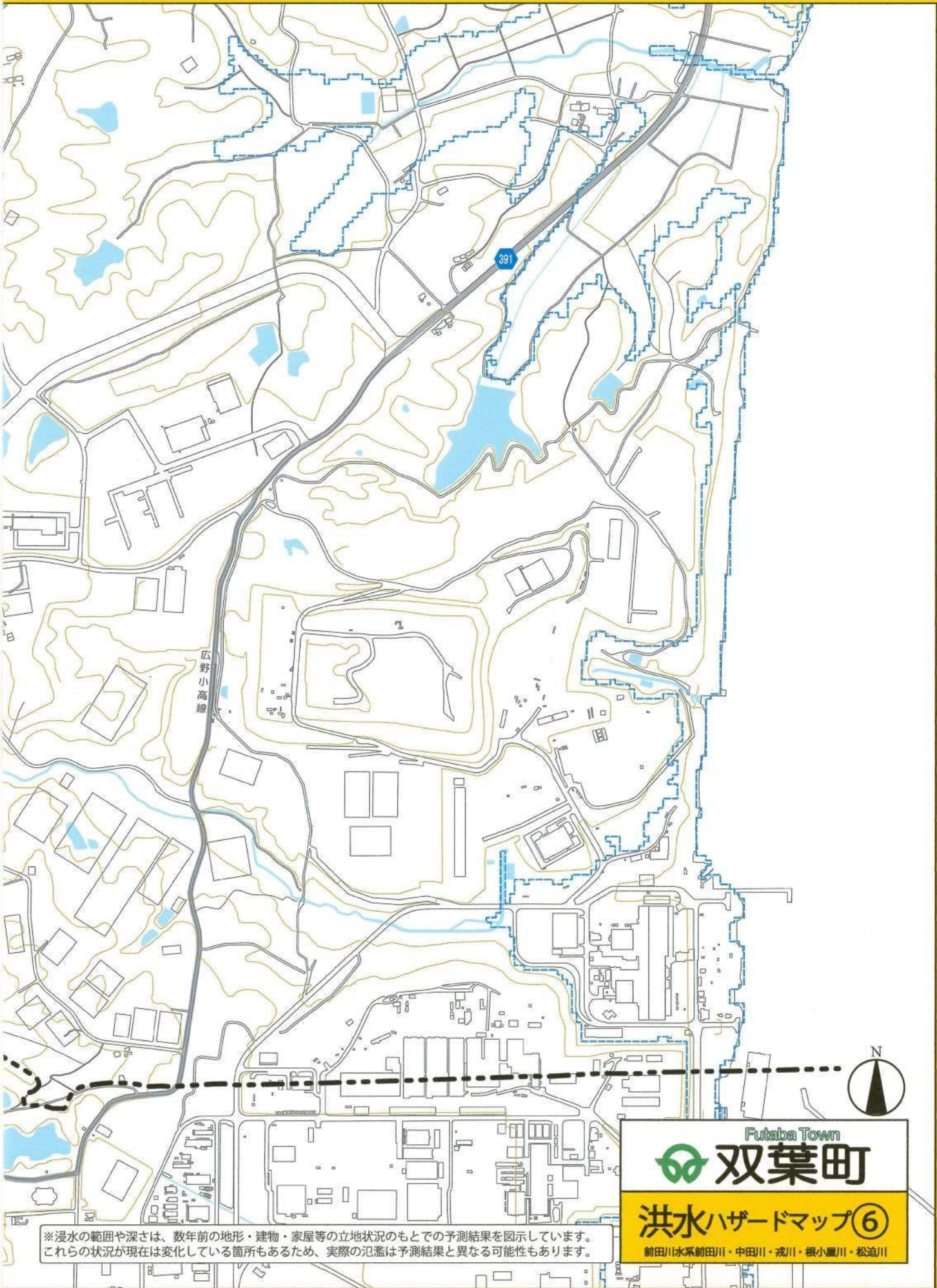




※浸水の範囲や深さは、数年前の地形・建物・家屋等の立地状況のもとでの予測結果を図示しています。これらの状況が現在は変化している箇所もあるため、実際の氾濫は予測結果と異なる可能性があります。

Futaba Town
 **双葉町**
洪水ハザードマップ⑤
 前田川水系前田川・中田川・戎川・根小屋川・松迫川





※浸水の範囲や深さは、数年前の地形・建物・家屋等の立地状況のもとでの予測結果を図示しています。これらの状況が現在は変化している箇所もあるため、実際の氾濫は予測結果と異なる可能性もあります。

Futaba Town
 **双葉町**
洪水ハザードマップ⑥
 前田川水系前田川・中田川・戎川・根小瀬川・松迫川



もしもの時の防災メモ



避難場所

集合場所

集合時間

家族の連絡先

氏名	電話番号	住所

非常用持出品リスト *必要なものをメモ

- 携帯ラジオ・懐中電灯（電池は多めに用意）
- 非常食品
- 緊急医療品（常備薬・おくすり手帳）
- 貴重品（現金・印鑑・マイナンバーカード）
- 感染症対策用品（体温計・マスク・消毒液）

非常用備蓄品リスト *必要なものをメモ

- 飲料水（1人1日3リットルを目安に）
- 燃料（卓上コンロ・ガスボンベ）
- 非常食品（お米・缶詰・ドライフーズ）
- その他（毛布・寝袋・調理器具・バケツ）

防災関係機関

名称	電話番号	名称	電話番号
双葉町役場	(代)0240-33-2111	双葉地方広域市町村圏組合消防本部	0240-25-8523
双葉警察署	0240-22-2121	双葉町診療所	0240-23-7386